

2015年次報告書 Annual Report 2015



日本YWCA

公益財団法人日本 YWCA

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 302 号室 ☎: 03-3292-6121/ FAX: 03-3292-6122

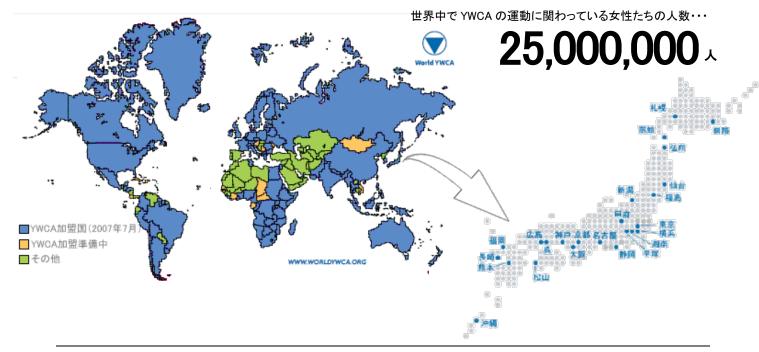
E-mail: office-japan@ywca.or.jp

ホームページ: http://www.ywca.or.jp/home.html

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年に英国で始まり、現在世界120あまりの国で、約2500万人の女性たちが活動しています。スイスのジュネーブに世界事務所があり、国連の諮問機関です。日本においては、1905年の設立以来100年以上にわたって、さまざまな社会貢献活動を展開しています。

→ Y W C → は、24 の地域 YWCA、36 校の中高 YWCA とともに、女性や子ども、高齢者など、弱い立場におかれている人たちをエンパワーするため、次の事業を推進する人材養成を行っています。

- 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業
- 青少年の健全な心身育成に資する事業
- 国連機関および国内外の NGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通じて行うアドボカシー(啓発・政策提言等)事業
- 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業
- 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業



日本 YWCA の 2015 年度

2015年度、日本 YWCA は東日本大震災被災者支援や、例年の「ひろしまを考える旅」、4年に1度開催される世界 YWCA 総会、「南京を考える旅」、高校生を対象にした「ふくしまから考える新しいエネルギー」など、平和を実現するため、さまざまなプログラムを実施しました。これらすべての活動は、多くのボランティアの方々のご協力と、ご寄付に支えられて実現することができました。









「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIV と AIDS」「性と生殖/健康」など、女性と子どもに関するグローバルな課題は山積みです。日本 YWCA は出会いを通して、見て、聴いて、歩き、語り、考えることを大切に、若い女性を主体としながらも、多世代の参加を得て、以下のプログラムを実施しました。

ひろしまを考える旅 2015 8月11日(火)~8月13日(木) @広島

「被爆から70年はなんだったのか?~そして未来に向けて~」

「ひろしまを考える旅 2015」には、10 代からシニア世代までの全国各地の参加者に加え、留学生や中国・韓国ゲストを迎え、総勢60 名が参加しました。70 年前、広島に落とされた原子爆弾。参加者は、被爆者の方の証言に耳を傾け、また、フィールドワークを通して「あの日」に思いを馳せました。そして、私たちの未来に向けて語り合い、最終日にはそれを絵で表現しました。この旅の1人の参加者は、被爆70年の節目に寄せて、このような感想を共有してくださいました。

「ヒロシマの人々にとって

奪われたものを取り戻すための年月

原爆を落としていった アメリカ人の兵士を許すための年月

自分自身と向き合うための年月

○○主義のために死ななければならなかった世界中のか弱い人々 今も死に続けている人々のために

ヒロシマから祈りと行動をスタートする

それが 70 年経ってわかったこと」









中高 YWCA 地区カンファレンス

日本 YWCA には全国 36 の中学・高等学校が加盟し、毎夏、カンファレンスを行っています。2015 年は 3 つの地区カンファレンスを行いました。

- 東北•北海道地区:「平和」7月30日(木)~8月1日(土) 46名参加
- ・ 関東地区: 「東日本大震災から 4 年~今、私たちが考えること~」 7 月 30 日(木)~8 月 1 日(土) 41 名参加
- ・ 関西地区: 「おにぎりの中身―釜ヶ崎の炊き出しを通して―」 7月 27 日(月)~29 日(水) 94 名参加



南京を考える旅 2016 2月26日(金)~3月1日(火) @南京、中国

~平和の旅は『心』から~

日本・中国 YWCA の共催に加え、南京 YWCA の協力をもって、 日中交流プログラム「南京を考える旅」を実施しました。 日中 戦争時に日本軍が市民を虐殺した南京の地で、日本からの 参加者 15 名(ユース 10 名、シニア 5 名)と中国の参加者 23 名がともに歴史を学び、自らの考えや認識を語り合いました。

「何よりも中国と日本の若者が一堂に会し、共に行動し、話し合い、食卓を囲んだことは、お互いを理解する一番の方法だということをつくづく感じた。平和は理屈ではなく、人と人との関係の積み重ねによって作られていくのだと思う。中国の皆さんがとても歓迎して下さり、有り難かった。また日本のプログラムにも誠意を尽くして歓迎し、お互いの絆、関係を確かなものにしていきたい」













「私らしい国際協力~国際 NGO はじめの一歩講座」

より積極的に自らの道を切り拓き、自分らしく社会参画を進めるために必要な課題解決力やコミュニケーション力を高めるシリーズ 講座です。国際協力や NGO に関心のある方、リーダーシップを身につけたい方や新しいことを始めたい方を対象に開講しました。

• 6月27日(土) @新潟 「あなたの前に広がる世界~市民による国際協力~」 講師: 佐々木寛さん(日本平和学会会長/新潟国際情報大学国際学部教授)、他

• 10月31日(土)@甲府

「私らしい国際協力~マラウイでのボランティア 活動を通して見えてきたもの」

講師: 吉野華恵さん(2003年より山梨英和中学校高等学校で社会科教諭として勤務。2012年より2年間、JICA青年海外協力隊・村落開発普及員としてマラウイ国にて活動。帰国後、復職)

「次はあなたの出番!」

講師: 萩尾出穂(公益財団法人日本 YWCA 業務執行 理事)



国内外の発急支援

日本 YWCA は、東日本大震災発生以降、あの日生まれた子どもたちが 20 歳になるまで寄り添って活動していこうと決意し、com7300 委員会を立ち上げました。"com"はラテン語で「ともに」、"7300"は 20 年間の日数を意味しています。東日本大震災から既に 4 年という歳月が流れましたが、被災地は道半ば。記憶の風化や復興支援事業の滞りが見られ、被災者の方々にさらに寄り添うような支援が求められています。日本 YWCA は保養プログラム、セカンドハウスプログラム、活動スペース「カーロふくしま」を拠点とした活動、の 3 本柱で支援活動を行っています。

年間利用者数…

保養プログラム

@函館・東京・甲府・静岡・名古屋・京都・大阪・熊本

322 名

保養プログラムは、参加者が被災地から離れ、身体と心を休めて、リフレッシュするためのプログラムです。各地の地域 YWCA が、夏・冬・春の子どもたちの長期休暇に合わせて実施しました。







セカンドハウスプログラム @横浜·名古屋·神戸

横浜・名古屋・神戸にある3軒のセカンドハウスは、日頃線量の高い地域にお住いの方々が家族やグループで滞在し、自由な時間を過ごしていただくための住居です。子どもが小さかったり、兄弟姉妹の年齢差があったりして保養プログラムに参加できない場合、または家族でリフレッシュしたい場合など、セカンドハウスを自宅のように利用していただけます。これらの住居は、活動に賛同してくださった大家さんから無償で提供していただき、地域の YWCA が管理を担っています。

利用者の方々の被災地からの移動交通費は、ご寄付を用いて補助し、また、水道光熱費も無料とし、利用者の方々のご負担を軽減するよう努めています。





2015 年度利用者數… 30 家族

107名



カーロふくしま ®福島

JR 福島駅から徒歩 5 分ほどのところに YWCA 活動スペース「カーロふくしま」があります。ここは、福島に住む女性と子どもたちがいつも気軽に立ち寄れる場。時にはイベントや講座も行っていますが、地域の女性たちの自立的な活動を応援する場でもあります。

2015 年度開催講座・イベント

年間プログラム 参加者数…

5月28日:多肉寄せ植え教室

7月10日: 異文化に触れる メヘンディ教室

162名

7月 16日:福島 Y'S カフェ♪夏野菜の味噌炒めときゅうりの即席漬け

8月18日:「支援とは何だろう?」~長続きする支援のために必要なこと

9月24日:ハーブティ教室 10月15日:アロマ教室

10月27日:ブリザーブドフラワーWS

11 月 19 日:福島Y'Sカフェ ~ホットプレートで簡単パエリヤ

2016年1月19日: 多肉寄せ植え教室

1月21日:福島 Y'S カフェ ♪野菜たっぷりけんちん汁 お餅付き



ふくしまから考える新しいエネルギープロジェクト

2015年9月12日(土)~2016年3月12日(土)全9回

福島県に住む高校生を対象に「ふくしまから考える新しいエネルギー」を 9 回のシリーズで実施しました。自然エネルギーに取り組むフィールドワークをすることで、高校生たちは原発に代わるオルタナティブなエネルギーや、その活用方法、循環する持続可能な暮らしについて学びました。最終回では福島の地で自然エネルギーの活用を広げるために自分たちができることを発表しました。発表の中で、1 人の高校生はこう述べました。

「東日本大震災と東京電力福島原発事故により私たちが経験した事柄は、一生背負っていくことです。しかし、いつまでもそこにいることはできません。いずれ前に進み、新たな福島を生み出していかなくてはならない。再生可能エネルギー先進県としてのFukushimaを国内にとどまらず世界にアピールしていけるようになりたい。私たちはその岐路に立っています。ぜひ大人の人たちに私たちの声を聞いてもらい、そして力を貸してください」



第1回: 2015年9月13日(日)「キックオフミーティング」@カーロふくしま

第2回:10月4日(日)「ソーラーシェアリングって?」@一般財団法人えこえね南相馬研究機構訪問

第3回: 10月31日(土)「東京近郊の取り組み」@藤野電力 ~11月1日(日) @オフグリッド文化祭

第4回: 11月14日(日)「自分で作ってみよう ソーラーパネル!」 @カーロふくしま

第5回: 12月15日(土)~16日(日)「自然循環型の暮らし体験」@自然循環型古民家 と~じ舎

第6回: 12月20日(日)~12月24日(木)「さまざまな市民エネルギーの取り組みを訪ねて」

@東京•兵庫

第7回: 2016 年1月16日(土) @カーロふくしま

第8回:2月27日(土) @カーロふくしま

第9回:3月12日(土)「福島から考える新しいエネルギー」高校生発表会 @ウィズもとまち



オリーブの木キャンペーン



オリーブの原産地は地中海地方。パレスチナにも樹齢数百年といわれる大木が多く存在しています。オリーブの木はパレスチナの人々にとって生計手段であり、かつ貴重な栄養源。痩せた土壌でも実をつけ、800年から1000年生き続けるため、繁栄と幸福の象徴とされています。しかし、1967年のイスラエル占領開始以来、パレスチナ自治区でオリーブの収穫は厳しく制限され、近年では100万本以上の木々が切り倒されています。そのため、現地では農家が収入源や土地・家を失い、女性や子どもが不安定な生活を余儀なくされています。日本YWCAは、オリーブ植樹という非暴力的な方法で、現地の雇用創出、環境保全、生活の安定化を目指す、パレスチナYWCA・東エルサレムYMCAの協働団体「JAI(Joint Advocacy Initiative)」を支援しています。

JAI 主催のプログラム参加者の 1 人は、以下のようなメッセージを送りました。

「私が出会ったパレスチナ人は、イスラエル人を追い出したいのではなく、共存する道を探したい、と何度も言っていました。そして、世界の人々に、日本の人々に、この現状を知ってほしい、一緒に考えてほしい、とも。

オリーブの木は、パレスチナ人の生活の糧として大切な資金源であり、食料です。この活動を支えることで、私たちが共に平和を求める仲間であることを伝えることができます。 あの時出会った人たちが、安心して暮らせる土地となりますように」

オリーブの木キャンペーンは、3000円の募金で、パレスチナに1本オリーブの木を植えることが出来ます。2015年度は皆さんのご寄付のおかげで、224本のオリーブの苗木を届けました。

あなたも大切な出来事の記念に、パレスチナの平和を願って届けませんか?





ネパール大地震被災者支援募金



2015 年 4 月 25 日にネパール、インドおよびバングラデシュの一部を襲った大地震の被災者支援募金を呼びかけました。皆さまからの支援金は、ネパール YWCA が実施する、家を失った人びとや現地ボランティアのための毛布や食料などの物資支援、ピア・カウンセリング、緊急時および長期的カウンセリング・サービスに用いられました。

台湾南部地震被災者支援募金

2016 年 2 月 6 日に台湾南部で発生したマグニチュード 6.4 の地震によって被害を受けた人びとを支援する募金を呼びかけました。 頂きました募金は、台湾 YWCA が市民グループと連携して行うソーシャルワーカーの派遣、相談活動、緊急物資支援、申請書類作成の補佐などに用いられました。



日本 YWCA は、女性と子どもが様々な形態の暴力から逃れて、安心・安全に生活できるように、軍事基地や核、軍隊の役割拡大、 女性に対する暴力へ反対活動・アピールを展開しました。

第 28 回世界 YWCA 総会 10月9日(金)~10月16日(金)@タイ、バンコク

28th World YWCA Council: Bold and Transformative Leadership - Toward 2035

4 年に 1 度、開かれる世界 YWCA 総会。2015 年 10 月 11 日、70 カ国以上の YWCA から、500 人を超える人たちがタイ・バンコクに 集まりました。日本 YWCA からは、5 人の若い女性を含む 15 人が参加しました。

今総会では、20年後に目指すべき世界とYWCAのあり方をめぐる協議が重ねられ、最終日には「2035年へのビジョン構築」を打ち出しました。世界YWCAは「2035年には、1億人の若い女性と少女が、正義とジェンダー平等を実現し、暴力・戦争のない世界をつくるため権力構造を変革し、すべての女性に開かれた持続可能なYWCA運動を先導します」を決定。

日本 YWCA は、核問題・基地問題を「女性に対する暴力(Violence Against Women: VAW)」の側面から取り上げ、ワークショップを実施。憲法 9 条の英訳を記したティッシュペーパーや、広島の折り鶴の再生紙で出来たメッセージカードを配布するなど、「正義ある平和」に強くコミットしました。また、日本と韓国 YWCA で共同提出した「核兵器と原子カエネルギーの同等な否定」に関する決議案が、80%の賛成により採択され、向こう 4 年間、世界中の YWCA が核と原発の問題を知らせるために行動し、発信していきます。以下は決議文です。

『世界 YWCA は、原子力エネルギー(医療目的を除く)と核兵器が、女性・若い女性および少女の安全・健康・尊厳および暴力からの自由を脅かす「女性への暴力」の一形態である、という性質によって表裏一体の存在であり、共に否定されるべきであることを認識し、以下のことを決意する。

- ・核兵器および原子カエネルギー(医療目的を除く)の使用に反対する声をあげること。
- ・持続可能な平和における女性のリーダーシップを求める国連安保理決議 1325 号に沿う形で、女性がより大きな役割を持つ、原子力に頼らないオルタナティブなコミュニティを創造していくこと。』

この決議は、日本 YWCA が「『核』否定の思想に立つ」として 1970 年から掲げてきた考えに基づいており、それが世界 YWCA 全体の決議として採択されたことは、大きな進展といえることでしょう。













YWCA 緊急 Facebook アクション「全国で怒ってます」

2015 年 7 月 17 日に衆議院で強行採決された安全保障関連法に対し、全国各地で反対の動きが盛り上がりました。全国の地域 YWCA も抗議のアクションを展開しました。









非暴力週間(パープルキャンペーン) 10月18日(日)~10月24日(土)

10 月の第3週目は、YWCA 非暴力週間。世界 120 か国にある YWCA が、ともに少女と女性への暴力に対して声をあげ、女性に対する身体・精神・性的暴力に対する認識と、暴力のない世界に向けてのポジティブな行動を広めることを目指しています。日本 YWCA では「パープルキャンペーン」として、紫の洋服を着て、胸の前で腕を×に組んで「女性に対する暴力を許さない」意思表明をした写真を facebook に掲載しました。







Earth garden への掲載

「オーガニック&エコロジーとライフスタイル」をテーマにしたウェブマガジンに毎月記事を掲載しました。「アースガーデン」で検索!または、http://www.earth-garden.jp/を入力して、チェック!

声明

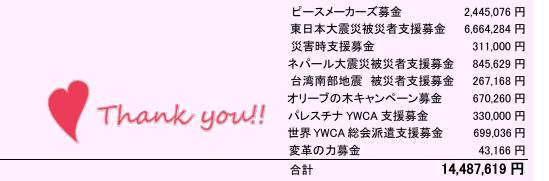
・ 安倍晋三内閣総理大臣、中谷元防衛大臣宛て「安全保障法制に反対する抗議声明」(7月2日)

賛同•要望•声明•決意表明

- 賛同「女性のレッドアクション in 銀座」(5月 14日)
- ・ 賛同「ガザ紛争から1年-国連はなぜ解決できないのか?」(7月25日)
- ・ 安倍晋三首相とナレンドラ・モディ首相への国際共同アピール「インドの使用済み核燃料再処理を可能とする日印原子力協定を 締結するな」団体賛同(7月19日)
- NGO 非戦ネットへの賛同(7月19日)
- ・ 院内集会「STOP HATE SPEECH」に団体賛同(7月19日)
- ・ 日本の入管法の見直しを求めるインターネット署名への参加賛同(7月19日)

寄付報告

2015 年度も多くの皆さまからご支援をいただきました。心より、お礼申し上げます。



日本 YWCA 賛助費

2,212,000 円

感謝をこめて

代表理事 石井摩耶子



2015 年度も皆さまの温かいご支援によって、日本 YWCA の活動を進めることができました。感謝申し上げます。特に、東日本大震災と原発事故による今もずっと続く放射能被害、さらに 4 月に熊本を襲った大震災に対しまして、国内外の皆さまから多大なるご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。日本 YWCA は、全国 24 の地域 YWCA と 36 のキリスト教中学・高校 YWCA が加盟する大所帯の組織ですが、その組織の強みを生かして、救援を最も必要とする女性と子ども、高齢者、障がいをもつ人々のために、きめの細かい支援をと心がけています。

昨年度は日本 YWCA が新法による公益財団法人に移行して3年目、新組織もやっと軌道に乗りました。「公益」とは何かについては議論のあるところですが、私どもは、あくまでもイエス・キリストに学びつつ、隣人愛の精神に立って、一人ひとりの人権が尊重され、正義と平和に満ち、環境にやさしい社会の実現のために、希望を失わずに励んでいます。こうして、先輩たちが心血を注いでつくり育てた有形・無形の財産を基にして、公益のため、特に今も不平等に苦しむ女性たちのエンパワメントのために努力を続けてまいります。

会長(理事) 俣野尚子



日本 YWCA は、被災者支援事業として、東日本大震災後、YWCA の拠点のある福島、仙台に軸を置き、子ども、女性、声をあげることの困難な人々の声に耳を傾け、一人ひとりの命を大切にすることを覚えて、支援活動を継続してまいりました。原発事故をともなう震災被害により、今もなお、日々の生活の中で、葛藤を余儀なくされている人々がおられます。忘れないで、かかわりつづけることの大切さを思います。

また、夏には、「中高 YWCA 地区カンファレンス」や「ひろしまを考える旅」を継続して、実施しています。これらには、未来の平和の担い手であるユースたちが参加しています。加えて 10 月開催された世界 YWCA 総会には、日本から 15 名が参加し、世界に連なる YWCA の姉妹たちと共に、大きなビジョン構築のために討議しました。そこでは、日本から出席したユースも積極的に発言していました。いずれも、YWCA で育くまれるリーダーシップの豊かさを感じます。こうした事業は、皆様のご寄付、ご支援なくしては、実現できないことであり、多くのお支えをいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今後とも、日本 YWCA の活動をご支援いただきますようお願い申し上げます。

2016 年度も引き続きご協力をお願いいたします。当法人への寄付金(賛助費を含む)は、**税額控除の対象**になります。

● ピースメーカーズ募金

ひろしまを考える旅や南京を考える旅といった、平和構築を担う女性のリーダーシップ養成事業に用いられます。

● 東日本大震災被災者支援募金

福島の女性と子どもたちの支援事業に用いられます。

● 賛助費

一口年額 3,000 円/ 5,000 円/ 10,000 円 日本 YWCA の活動全般に用いられます。

● 災害時支援募金

緊急災害時の被災者支援活動に用いられます。

● オリーブの木キャンペーン募金

ーロ3,000円で、オリーブの木1本がパレスチナに植えられます。寄付者には証明書が発行され、植樹された場所に寄付者のお名前入りプレートが置かれますので、振替用紙には必ずお名前のローマ字表記をご記入ください。













ご寄付には以下3つの方法がございます

① 銀行振り込み

三井住友銀行 飯田橋支援 普通 1198743 (口座名) 公益財団法人日本 YWCA ゆうちょ銀行 支店名 019 当座銀行 023723 コウエキザイダンホウジンニホンワイダブリューシーエー *銀行振り込みの場合、メールで①募金の種類、②ご住所、③お名前を、オリーブの木キャンペーン募金の場合は、④お名前のローマ字をお

② 郵便振替

知らせください。

00170-7-23723 (加入者名)公益財団法人日本 YWCA

*通信欄で募金の種類をお知らせください。オリーブの木キャンペーン募金は、お名前のローマ字をお知らせください。



③ クレジットカードで募金(かざして募金)

タッチするだけ! 忙しいアナタにおすすめ!

クレジットカードで募金をする方法です。

 右の QR コードを QR コード読み取りアプリで写真を撮るか、 日本 YWCA ウェブサイトのトップページの右手にある「かざして募金」をクリックするか、 以下の URL を入力する。

 $\underline{\text{https://ent.mb.softbank.jp/apl/charity/sp/careerSelect.jsp?corp=296}}$

2. 金額と寄付期間を選ぶ。(100 円~10,000 円まで寄付金額をお選びいただけます。) かざして募金から頂いたご寄付は全て、東日本大震災被災者支援事業に使われます。

Withorkapan kazashi te

携帯からご寄付される場合・・・

- ★ソフトバンクの場合: 寄付金は毎月の電話料金に加算されます。
- ★ドコモ・au などの場合:寄付金はクレジットカードでのお支払いになります。

そして、毎日のクリックでもご支援ください!

日本 YWCA は、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo(グッドゥ)に参加しています。gooddo の日本 YWCA のページに行き、毎日【応援する】をクリックするだけで、あなたに代わって支援企業から日本 YWCA に寄付が届けられます。支援企業にあなたの Facebook で「いいね!」したときも、企業から日本 YWCA に寄付が送られるしくみになっています。



